

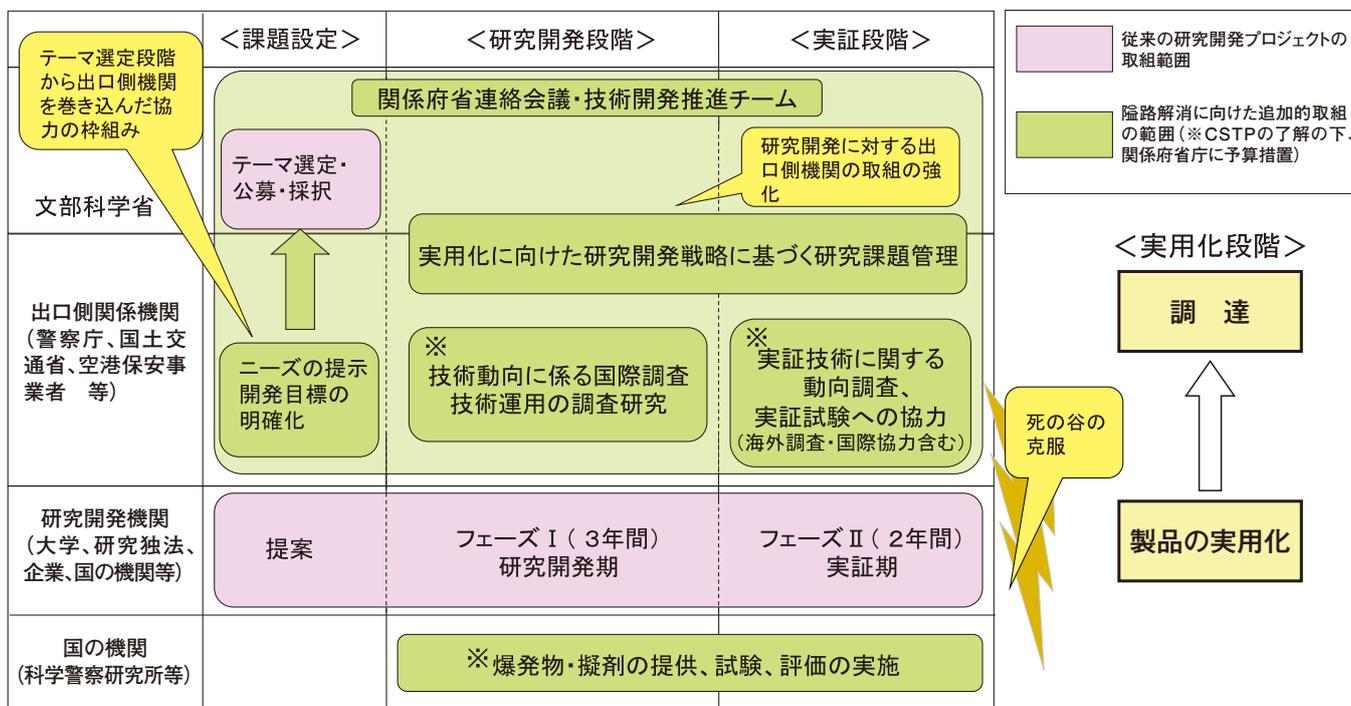
社会システム改革と研究開発の一体的推進プログラム

安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術等を実用化するプログラム

- 目的** 安全・安心な社会のための犯罪・テロ対策技術について、関係府省庁との連携体制の下、具体的な現場ニーズに基づいたテーマ設定、技術開発及び実用化に向けた実証試験までを一体的に行う。
- 対象機関** 大学又は大学共同利用機関、国立試験研究機関、独立行政法人、民間機関（企業等）等の国内の機関を対象とする（法人格を有する者に限る）。
- 実施期間** 原則5年間（一部のテーマは3年間）。3年目（一部のテーマは2年目）に再審査を行い、達成目標の達成の見込み、実証試験の見通し等について審査し、継続して実施する課題を選定する。
- 支援の上限** 年間1億円程度（間接経費を含む）

犯罪・テロ対策技術等の安全・安心な社会の構築に資する科学技術について、関係府省の連携体制の下、ユーザーとなる公的機関のニーズに基づいた技術開発を実施し、実用化につなげる。

（例：爆発物の検知技術開発を行う場合）



- 技術開発分野：爆発物・違法物等探知、化学剤検知、生体情報分析技術、個人防護装備 等